

「愛媛県生涯学習推進計画（第六次）（案）」概要

1. 基本的な考え方

- 【国】 第4期教育振興基本計画（R5.6）
第12期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理（R6.6）
【県】 愛媛県総合計画～未来につなぐ えひめチャレンジプラン～（R5.6）
愛媛県教育振興に関する大綱（R5.3）

第五次計画 R3年度～R7年度

【基本目標】

誰もが生涯学ぶ、愛顔あふれる
“学び舎えひめ”の創造

- 施策体系を引き継ぐ
・基本目標→施策の方向性→推進施策→推進指標

- リカレント教育・リスクリングの充実
○障がい者の生涯学習の推進
○多様な担い手との連携・協働

県民アンケート調査（R6.10～11）の結果

- 県民のニーズを踏まえて
・多様な学び（知識や技能の習得）、
少子高齢化、防災・減災 など

第六次計画 R8年度～（概ね5年で計画見直し）

【基本目標】

誰もが学び続けることができ、幸せや生きがいを感じられる“学び舎えひめ”の創造

- 「誰もが学び続ける」とは、障がいのある人を含む子どもから高齢者まで誰もが、生涯を通じて学び続けることができるよう学習機会の充実を図ること
○「幸せや生きがいを感じられる」とは、県民一人ひとりが、ふるさとに愛着を持ち、幸せや生きがいを感じられるような生涯学習を推進すること
○「“学び舎えひめ”の創造」とは、自分たちの“学び”の成果だけでなく、生涯学習や地域の活動、公民館活動、ボランティア活動などの“学び”を通して構築される人間関係やつながりが地域づくりにつながっていく姿をスローガンとしてまとめたもの

【施策の方向性】

- ①自発的・主体的に継続して学ぶ
②多様な担い手と連携・協働して学ぶ
③学びを通じたつながりづくり・地域づくり

【推進施策】 （1つの新規、4つを拡充）

- ①障がい者の生涯学習の推進・支援（新規）
②学び続け、学び直すための情報や場の提供（リカレント教育・リスクリング・デジタル人材の育成）（拡充）
③地域や民間等との協働による地学地就の推進（拡充）
④学んだ成果を地域づくりに生かす取組の充実（拡充）
⑤文化・生涯学習の成果発表、交流・体験機会の提供（拡充）

【推進指標】 （10の新規）

- ①コミュニティ・カレッジのリカレント教育関連講座開催回数 ②地域産業リスクリング実践補助金事業に参加した企業数
③えひめの女性スキルアップ支援・雇用促進事業のうち「再就職に向けデジタルスキル習得のための研修プログラム」に参加した人数
④県障がい者アートサポートセンターへの相談件数 ⑤施設等でeスポーツに取り組む障がい者の人数
⑥コミュニティ・スクールを導入した学校数 ⑦小学6年生を対象とした地域産業や企業等を知る活動実施校数
⑧小・中学生のふるさと学習作品展への応募校数 ⑨障がい者芸術文化祭（舞台芸術）への参加者数・観覧者数
⑩障がい者芸術文化祭（パラアート魅力発信事業）への参加者数・来場者数

2. ポイント

(1) 社会の変化や県民のニーズに即した計画

国や県の計画のほか、県民アンケート調査の結果などを基に、リカレント教育やリスクリングの推進や多様な担い手との連携・協働、障がい者を含む子どもから高齢者まで生涯を通じた学習機会の充実を図り、県民一人ひとりがふるさとに愛着を持ち、幸せや生きがいを感じられるような生涯学習を推進することを目指す。

(2) 幅広い推進指標の設定

現計画の推進指標(43)から、学び直すための情報提供や、障がい者の生涯学習の推進など、関係部局が連携した、より幅広い分野に関する推進指標(51)へと変更する。